

メキシコにおける地震被害に対する 国際消防救助隊の派遣について（最終報）

平成29年9月28日11時00分
消防庁災害対策室
※下線部は前回からの変更点

1 地震の概要

- (1) 発生日時 平成29年9月20日（水）3時14分頃
（現地時間9月19日13時14分頃 ※日本との時差：-14時間）
- (2) 震源地 モレロス州アソチアパン市から南東約12km
（北緯18.5度、西経98.4度）
- (3) 震源の深さ 57km
- (4) 地震の規模 マグニチュード7.1
- (5) 津波 この地震による津波の心配はなし

2 被害状況

死者 333名
負傷者 1,200名以上
※ メキシコ内務省市民保護局発表

3 派遣期間及び派遣先

平成29年9月21日（木）～ 9月28日（木）
メキシコ合衆国

4 派遣隊の構成

国際緊急援助隊・救助チーム 72名
（消防17名・警察23名・海上保安庁14名・外務省1名・JICA10名・医療関係者5名・構造評価専門家2名により構成）

国際消防救助隊（IRT-JF）	17名
消防庁（国際緊急援助隊救助チーム副団長）	1名
東京消防庁	6名
仙台市消防局	3名
京都市消防局	3名
朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部	1名
豊中市消防局	1名
和歌山市消防局	1名
高知市消防局	1名

5 派遣経過

9月20日

メキシコ政府からの要請を受けた外務省からの派遣協議を受け、消防庁長官が国際消防救助隊の派遣を決定。

9月21日

10時45分 国際緊急援助隊・救助チーム結団式。

11時15分 国際消防救助隊結団式。

国際消防救助隊を含む国際緊急援助隊・救助チームは、21日午後に成田国際空港を出発（14時25分発及び17時05分発の2便に分乗）。

以下、メキシコ時刻（日本との時差 -14時間）

9月21日

13時00分頃 第1陣がメキシコ・シティ国際空港到着。メキシコ外務省アジア太平洋局長、メキシコ国際開発協力庁日本担当局長等が出迎え。

15時10分頃 第2陣がメキシコ・シティ国際空港到着。

午後 メキシコ政府との調整後、メキシコ・シティ内2カ所で捜索救助活動開始。（このうち、1カ所では要救助者発見し救助するも、医師により死亡を確認。）

22時00分 UNDAC（国連災害評価調整チーム）及び他国の国際救助隊との調整会議に参加。

9月22日

メキシコ・シティ内2カ所でメキシコの救助隊や他国の国際救助隊とともに捜索救助活動を実施。

9月23日

メキシコ・シティ内1カ所でメキシコの救助隊や他国の国際救助隊とともに捜索救助活動を実施。（余震により一時作業が中断するも、活動再開。）

9月24日

メキシコ・シティ内1カ所でメキシコの救助隊や他国の国際救助隊とともに捜索救助活動を実施。

9月25日

メキシコ政府から更に救助が必要な被災現場はない旨連絡があった事を踏まえ、同政府と協議した結果、国際緊急援助隊・救助チームは現地での捜索救助活動を終了。メキシコ政府外務大臣より、全隊員に謝意が示された。

9月26日

1時50分 国際緊急援助隊・救助チームのうち第1陣が、メキシコ・シティ国際空港を出発。

午前 メキシコ・シティ市長及び在メキシコ日本国大使へ活動報告。

9月27日

国際緊急援助隊・救助チームのうち第2陣が、27日未明にメキシコ・シティ国際空港を出発（1時50分発及び2時20分発の2便に分乗）。

以下、日本時間

9月27日

6時20分 第1陣が成田国際空港に到着。

9月28日

午前 第2陣が成田国際空港に到着（6時20分及び6時40分に到着）。

8時30分 国際緊急援助隊・救助チーム解団式。

9時15分 国際消防救助隊解隊式。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
遠藤、柿本、長戸

TEL 03-5253-7507（直通）

FAX 03-5253-7576